

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

94

議会だより

2024.8.1 発行

2P

第4回定例会 補正予算

3P

審議案件と議決結果

3P

主な質疑・討論

6P

一般質問
6名が町政について質問

14P

まちのようす

専決第1号

令和5年度 一般会計補正予算 (補正第7号)

第4回
定例会

補正額
(減額)

△ 1億449万円

総額

32億5,283万円

減額の主なもの

- 総務 コロナ臨交金事業費 (電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援分)
上勝泊まって応援事業補助金 △551万円
上勝町議会議員一般選挙費 選挙公営費負担金 △530万円
- 民生 障害者福祉費 援助費 △1,000万円
保育所運営費 業務委託料 △900万円
災害救助費 援助費 △506万円

閉会 令和6年6月21日
開会 令和6年6月13日
会期 9日

専決第2号

令和5年度 国民健康保険(事業勘定) 特別会計補正予算 (補正第4号)

補正額
(減額)

△ 1,714万円

● 主なもの

一般被保険者療養給付費 同負担金 △1,216万円
一般被保険者高額療養費 同負担金 △189万円

総額

1億8,661万円

令和6年度 一般会計補正予算 (補正第1号) <修正可決後>

補正額
(追加)

2億600万円

総額

34億3,600万円

増額の主なもの

- 総務 一般管理費 財政調整基金積立金 1億8,000万円
地域おこし協力隊事業費 業務委託料 1,240万円
- 農林 林業振興費
かみかつ的森林経営管理事業伐採搬出業務委託料 415万円
もくさんウッドパーク事業補助金 350万円

令和6年度 国民健康保険(事業勘定) 特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額
(減額)

△ 23万円

総額

2億2,976万円

● 主なもの

一般管理費 マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修等業務委託料 297万円
予備費 △348万円

令和6年度 介護保険特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額
(追加)

1,112万円

総額

3億6,012万円

● 主なもの

一般管理費 国庫・県支出金・支払基金精算返還金 518万円
基金積立金費 介護給付費準備基金積立金 521万円

令和6年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (補正第1号)

補正額
(追加)

294万円

総額

5,342万円

● 主なもの

納付金 後期高齢者医療広域連合保険料等 103万円
他会計繰出金 一般会計繰出金 173万円

(第3日) 令和6年6月21日(金)

○：賛成 ×：反対 ー：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	平 原 美 和	関 康 昭	前 田 敏 宏	酒 井 直 美	高 石 雅 弘	日 下 一 茂	岡 本 明	田 中 寛
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 令和5年度上勝町一般会計補正予算(補正第7号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号 令和5年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第4号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 上勝町廃棄物処理及び再利用促進に関する条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 上勝町税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 上勝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第34号	上勝町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第35号	上勝町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第36号	上勝町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第37号	上勝町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	上勝町簡易水道給水条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第39号	上勝町水道法施行条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第40号	令和6年度上勝町一般会計補正予算(補正第1号)について	有	有	修正案可決	○	○	×	○	○	×	×	-
議案第41号	令和6年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	令和6年度上勝町介護保険特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第43号	令和6年度上勝町後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第44号	物品購入契約の締結について(令和6年度消防ポンプ自動車更新事業)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第45号	工事請負契約の締結について(令和6年度町単独中津住宅新築工事)	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第46号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第47号	令和5年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	有	有	報告								-
報告第48号	株式会社かみかついきゅうの経営状況について	無	無	報告								-
報告第49号	株式会社上勝バイオの経営状況について	無	無	報告								-
報告第50号	株式会社もくさんの経営状況について	無	無	報告								-
報告第51号	株式会社いろどりの経営状況について	無	無	報告								-
報告第52号	一般社団法人かみかつ森林環境公社の経営状況について	無	無	報告								-
報告第53号	一般社団法人かつら国土と未来振興協会の経営状況について	無	無	報告								-
発議第2号	デジタル化推進特別委員会設置に関する決議について	有	有	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-
-	委員会の閉会中の継続調査について	無	無	承認	○	○	○	○	○	○	○	-
-	寄附の申し立てについて			報告								-

主な質疑・討論

第4回上勝町議会定例会

議案第40号 令和6年度
上勝町一般会計補正予算
(補正第1号)について

〔原案に対する質疑〕

問 岡本議員

移動式鳥獣焼却設備について全協の時点では、猟友会に話ができなかったようだが、その後、どう対応したか。また、反応はどうだったか。

答 佐々木産業課長

福原猟友会 6月13日に三役・顧問と協議。猟友会として協力する。高鉾猟友会 6月15日に三役で協議。おおむね賛成。運用等については、福原猟友会とも協議し、進めていきたい。

問 岡本議員

ウッドパーク事業費が出ているが、もくさんだけの展示販売するのではなく森林公社も展示している。一ヶ所にまとめられないか。

答 花本町長

人員とか色々煮詰めないといけないが、できない事ではない。

問 前田議員

移動式焼却施設整備は、重要な施策であるが、管理・運営面で問題点が残る。議会の理解を得た後でなければ、予算執行はしないと提案するが、町長の考えは。

答 花本町長

□頭でも約束は約束なので、当然、経過を踏まえて執行していく。

討論

原案 賛成 岡本議員

捕獲鳥獣を埋める土地もない人、不法投棄防止の為に、必要だ。

賛成 日下議員

穴を掘るのは、本当に苦になっっている。

賛成 前田議員

高齢化していく狩猟者の負担減。有害鳥獣被害の軽減につながる。

酒井直美

提案理由

鳥獣被害防止対策いわゆる有害鳥獣対策ですが、農家さんにも、家庭菜園されている方にも、生活に直接結びつく大変重要な問題であることは、誰しもが理解できる事です。

一方、捕獲後の処理については、猟友会のみなさまにご協力を頂いてますが、不法投棄も増えていると言われています。

また、猟友会会員も高齢化が進み、活動にも限界・支障が出てきているとも聞いています。この様に、町民生活に係わる重要な問題であるからこそ慎重に取り組まなくてはならない。

しかし、残念ながら、今提案内容では、説明不備、理解出来ない点ばかりです。

・実証実験データがない。

予算可決後に製造する受注生産という事だが、町側からどのような機能条件を提示したのかわからない。ガス・臭い・焼却能力等の実証実験データが必要。以前ダイオキシン対策の焼却炉を購入したが、残念ながら成果出さず処分した経緯もある。

・運営計画がなにも示されていない。

運営方法・管理を含めた運営費試算が不明。誰が管理・運営するのか。費用負担は誰が、いくら負うのか。800℃燃焼で炉は何年もつのか。焼却が重なった時の一時保管所（冷蔵保

管）はどうするのか。車両保管所も必要になると予測されるが、このような付属品・付属施設等を含めた、総合的費用の目途が明らかでない。

・「処理」「焼却」の発想に危機感。上勝町は、ゼロ・ウェイストの先進地であり、町民の皆様の大変なご協力とご理解のうえ、ゴミ45分別からスタートし、リサイクルを念頭に焼却に対し注視して来ました。生ゴミに対しても、町民のアイデアで「キエーロ」等の商品開発を行っている。

このように、町民が長年築き上げてきた上勝町の世界でのポジションを、今回も誰も知らないうちに「処理」「焼却」という事業には到底納得できない。「焼却」という文字は、今まで積み上げてきたゼロ・ウェイストのイメージダウンにつながる危険な提案です。よって「捕獲鳥獣焼却設備」事業費を削減する修正案を提出する。

補正として、冒頭申し上げたように「有害鳥獣対策事業」は大変重要な事業です。あらためて、当事者（猟友会）を主として町民に幅広く対策方法を提案して頂き、実行する事を期待する。

【修正案に対する質疑】

問 岡本議員

導入を止めた場合の代替案は。

答 酒井議員

この問題は広域的な事であり、県が取り組むかあるいは、近隣市町村の連携で調査する必要がある。この辺も含め幅広く

考える事を提案する。

討論

修正案

賛成 高石議員

猟友会には全く説明していない。運営者も決まっていない。ガス代もいくらかかるか全くわからない。これはダメである。また、ゴミゼロ宣言の町で、大量の燃料を必要とする焼却処分も問題と考える。

賛成 平原議員

町長はマイクロプラスチックと地球温暖化を現在の大きな問題と捉えているとゼロ・ウェイスト・アカデミー総会で挨拶された。熟考された事とは言え、町民との話し合いに欠ける。

賛成 関議員

焼却すればきれいに始末できるが、町民や猟友会会員の意見を聞きながら、よりよい設備案を検討してほしい。

議案第45号 工事請負契約の締結について

問 岡本議員

以前建設された中津住宅では台所の換気扇などに不具合があったと聞いているが、今回も

同様に設置するのか。

答 笹尾建設課長

中津住宅A棟では、床下から換気扇まで180センチ以上あったが、身長等個人差があることから、その分を考慮して高さは下げている。

報告第47号 令和5年度上勝町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

問 高石議員

衛生費でゼロ・ウェイストセンター雨樋設置事業では517万円が繰越となっているが、440万円で中尾建設が落札した記憶があるが、この金額の違いは。

答 吉積参事兼企画環境課長

当初予算では517万円であったが、入札の結果金額が減少したものである。

発議第2号 デジタル化推進特別委員会設置に関する決議について

議会は、条例、予算等の審査や決議を行う議事機関として、住民のニーズを適切に酌み取り、納得感のある合意形成を行う上で大きな役割がある。

この役割を果たすためには、多様な人材が参画した、住民に開かれた議会を実現していくこ

とが特に重要である。

議会におけるデジタル化の推進は、ペーパーレス化等にとどまらず、大災害等の非常事態時の緊急性を要する議会の開催、又は育児等により議場に参加できない議員の権限行使の確保、職員の大幅な負担軽減又は地域住民に対する情報提供の推進等において重要なツールとなる。

よって、デジタル化の導入に係る議会としての在り方や、住民等への情報発信やサービスの提供の推進について、特別委員会を立ち上げ調査研究をする必要がある。

岡本議員

デジタル化は将来必要であるが、委員会を立ち上げて町内でのデジタル化の推進は時期尚早ではないかと思うので、同委員会の委員を辞退したい。

田中議長

デジタル化推進に係る自分の意見等がデジタル化特別委員会の運営において、反映されないこととなるが、それでよいのか。

岡本議員

委員会では多数決となるため、私は辞退したい。

デジタル化推進特別委員会

委員長 平原美和

副委員長 関 康昭

委員 日下一茂・田中 寛・高石雅弘・酒井直美・前田敏宏

議長 田中 寛



ゼロ・ウェイスト
政策の将来を考える

時代は移り変わるもの。かつて、当時の先駆者たちが英知を結集し、多く時間と汗を流して作り上げたものであっても、時の経過と状況の変化の中、今もなおそれが最適に機能しているのか、常に検証しなければなりません。

それは、上勝が全国に、そして世界に誇ることができるとゼロ・ウェイスト政策として例外ではありません。

この崇高な理念や試みは、出来れば未来永劫に継承し、この小さな町から、限りある資源の大切さと、地球環境の重要性を、その実践を通して広く発信していく必要があると思います。

そのためには、実践母体としての上勝の中で、その制度が今も住民の

ニーズや社会に適合しているのかを常に追求する必要があります。

本町の高齢化率は約53%と半分以上の住民が高齢者となり、さらに75歳以上の人口は実に約37%に及ぶなど、住民の高齢化は確実に進んでいます。

そんな中で、住民による一極集中の廃棄物の収集処理や多分別処理等、重い住民負担に異議を唱え、又は将来的な不安を口にしている高齢者の声も聞こえてきます。

行政は、そろそろ本町の実情や住民のニーズを調査し、住民負担の軽減や行政サービスの展開など、それに似合う方法・手段を模索する時期となっているのではないのでしょうか。

新しい事業の実施や従来の事業の転換には、新たな問題点等が再発し、行政として多大の労力と費用を費やすことと

なるかもしれない、二の足を踏む気持ちも理解できます。

しかし、そのことをもってやらないのは、まさに本末転倒と言わざるを得ないでしょう。

私たちは、上勝の誇れるブランドであるゼロウェイスト施策を如何に持続可能なものとするのか、その一点のみを念頭に置き、変革すべき点があれば躊躇なく行うという覚悟をもって、これに向き合う時期に来ていると思います。

活動報告(主な会議等)

・市町村議会議員研修「防災と議員の役割」(全国市町村国際文化研究所)

・全国町村議会議長・副議長研修会(東京国際フォーラム)

雑感

先日「マシューとマリのお話会」という催しがあり、お邪魔させていただきました。アメリカの高校生がリサイクルを学ぶため上勝を訪れたとのこと。

この会は、当初想像していた以上に興味深いものであり、何よりも16歳のマシューと17歳のマリを意識の高さと毅然とした受け答えには驚かされました。

また、この会に参加していたベルギーから移住しているシルさんの「ゼロ・ウェイストは上勝の魅力の数パーセントではない、上勝にはそれ以外にも数えきれないほどの魅力があることを知ってほしい」と二人に言った言葉は、地元民である私にとって、まるで長年の忘れ物を思い出させてくれたような、新鮮で胸に響く言葉でした。

焼けつくような8月の日差しの中、今年もまた終戦の日を迎えようとしています。79年前の夏、数えきれない命と深い傷跡を残して大戦は終わりました。そして今、世界では至るところに戦火が飛び火し、きな臭い時代へと進んでいくように見えます。私たちが、そして将来の世代がいつまでも平和でいられることを願うばかりです。それでは、盛夏厳しき折、皆様お体を十分に各自愛ください。



問 集落再生事業費の減額について



関 康昭 議員

企画環境
課長

6年度は上限50万円の事業で実施

上勝町美しい集落再生プランについて

問 補助上限が100万円から50万円となったが、今年の事業計画、事業費の減額についての反応はどうだったか。

答 吉積参事兼

企画環境課長

平成22年度、本町の行政を取り巻く環境も急変しており、集落機能が維持できなくなる危機が迫っている状況を踏まえ、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を活用し、持続可能な地域社会実現のため、上勝町集落再生プロジェクト事業として実施してきた。令和5年度までの10年間で310件、総事業費で約1億6,000万円を実施。支障木伐採、桜等の植樹、連絡道の整備等、上勝町の集落生活環境は大きく改善されたと評価できると考えている。

今回10年目の節目を迎え、地域を取り巻く環境も、厳しい状況には変わりなく、本事業の特別交付税措置対象額算定での指導を受けたこともあり、限られた財源の中で効率的かつ効果的な行政運営を図るため、今回見直しを行った。

常に健全化に努めなければならぬことも考慮して予算計上となっている。

事業説明会を名総代、集落支援員を対象に開催し、ご理解ご協力をお願いしてきた。

一定のご理解をいただけたと思うが、事業費の減額により、事業推進の後れの懸念であったり、県への交付金増額の要望。基金の活用、補助額の増額または別途活用できる制度の検討についてご意見をいただいている。財政の確保等を現在検討しているが、現状6年度は、事業申請実施中及び完了地区合わせ現在

6件有、それぞれ上限50万円の事業実施でご協力をいただいている。

要旨 町の財源に限りがあるのは現実だが、ありがたい事業であり、また地域の景観、整備等に大きく役立っていると思う。

「高齢化している今、元気で頑張っていただけにうちに、上勝町の将来のために、この数年が大切なのではないか」という声を町民から耳にする。

今までも、考えて有利に活用いただけていたのだろうが、せっかく定着し、美化されていく姿を後押ししてほしい。

花本町長並びに吉積参事兼企画環境課長等に要望する。



集落再生事業の様子

問 公共施設のトイレを洋式化へ



平原美和 議員

総務課長

トイレの洋式化等改修計画はない

議会のデジタル化について

問 3月議会において、議会のデジタル化はメリットが少ないと町長の発言にあったが、改めてそのメリットの有無は。

答 重田副町長

ペーパーレスについては費用対効果は少ないという答弁だったが、一方で職員の負担軽減、会議の円滑化、効率化等、定量的に測れないメリットがあり、十分な議論が肝要。

役場や学校等のトイレを洋式化へ

問 日本のトイレの洋式化は昭和50年より普及が広がっている。町内の公共トイレの洋式率と役場のトイレ使用年数は。

答 久保総務課長

57・6%の洋式率で、役場のトイレは昭和58年

竣工時から40年経過している。

問 丁寧に使用されているがトイレの使用年数を大きく上回る。時代に即した設備へ改善を検討できないか。

答 久保総務課長

トイレの洋式化等の改修計画はない。

要旨 誰が使われても都合なく、安心して快適に使用できるよう改善を求める。

学校給食無償化と子育て支援の入学祝い金について

問 入学祝い金支給状況、返還事例はあったか。

答 松岡教育委員会 事務局長兼支所長

平成30年から令和6年度まで7年間で小学校53人、中学校44人の計97名へ100%支給し、一人10万円計970万円。返還事例はない。

問 子育て支援として大きな政策がうかがえるが、支給時期に不便を感じる声があり検討を求め、切れ目のない子育て支援には学校給食無償化がふさわしいのでは。

答 松岡教育委員会 事務局長兼支所長

給食費については学校給食法で保護者が負担するものと定められている。国での検討に注視する。

大阪万博への学校行事からの参加について

問 県からチケット補助が計画されているが問題の多い万博開催で安全性が確保されていない会場へ子どもたちを参加させる予定があるのか。

答 立川教育長

安全対策としていくつも問題が想定されるため現段階では困難が予想され非常に難しい。

農業と食糧自給について

問 自然災害や世界情勢から食料をめぐるリスクが増大している。町内の食の自給力を高めるため、作物の収量を把握し、日本人一人が一年間食べるために必要な農地の耕作面積は。

答 佐々木産業課長

営農計画書を基に、作付面積は約956アール。町民一人当たり約7・6アール。圃場条件の悪い本町は都道府県別反収データの2分の1程度の収穫量と考えられる。

問 能登地震では一週間を超えて支援物資の届かない集落もあった。南海トラフ地震の際には徳島県内214の農業集落が被害を受ける想定の中、被害を受ける想定の中、災害備蓄品は指定避難所すべてに配置されておらず、町内で自分の身を守るためには、一人当たり

の耕作面積は大事な数字となるのでは。また、農業や化学肥料等、地域外からの資材を多く使う慣行農法から、アグロエコロジの持続可能で公正な農の普及が、国内外から訪れる環境意識の高い人々や今後町民の暮らしに多様な可能性と循環をもたらすのではないか。

答 佐々木産業課長

持続可能な農業を目指すためには、彩農業等の収益、後継者の育成や担い手確保が重要課題。

要旨 野焼きからゼロ・ウェイストへかじを切ったように、慣行農法から地域内循環を活用した生産施設への支援や、化学肥料や農薬を使用しない農法への助成など、上勝を観光で訪れる方にも、町民が末長く持続可能な暮らしが上勝で続けたい。ためににも検討いただきたい。





日下一茂 議員

福川防災施設内トイレの ドアの改善を

既に改善済み

町営バスに
ついて

問 町内にはバス停は
何ヶ所あるのか。

答 松岡教育委員会
事務局 局長兼支所長

八重地上から横瀬西線
28ヶ所で落合東から大北
線では7ヶ所だ。

問 バス停にはどのよう
な設備があるのか。

答 松岡教育委員会
事務局 局長兼支所長

町が設置しているのは
各停留所標識と横瀬西バ
ス停のみだ。屋根付は
10ヶ所、椅子のみは3ヶ
所だ。屋根と椅子は地元
有志や地元団体などが製
作し、設置している。

問 町が管理しているの
は何ヶ所あるのか。

答 松岡教育委員会
事務局 局長兼支所長

町が設置している横瀬
西バス停のみだ。維持管
理はバス停の清掃、バス
の運行を含め「大新東」

に委託している。屋根付
きの停留所、待合所は職
員で直せる範囲の軽微な
ものは補修している。

問 藤川橋バス停の椅子
が壊れている。

答 花本町長

地元の声で設置された
椅子だと思うが、危険で
あれば撤去する。



町営バスの傍示バス停



町営バスの藤川バス停

福川防災コミュ
ニティ施設のト
イレについて

問 室内側に中折の為、
非常ににくいので改善
を願う。

答 久保総務課長

利用開始時は、外側か
らの開閉は問題なく、使
用後退室時、便器と中折
のドアが接近し開けにく
いと確認したので改善策
として内側ドア中央部に
取っ手を設けた。



福川防災施設トイレ

森林管理担い手
活動施設について

問 施設の図面変更は
あったのか。

答 佐々木産業課長

4tトラックを収納す
ると説明していたが、施
設完成前に現場で出入庫
を確認した際、想定以上
に苦慮する。使用者と協
議の上運用している。



森林担い手活動施設（室内側より）

消防団員に
ついて

問 現在、上勝団員は何
人か。

答 久保総務課長

上勝消防団員数は令和
6年6月1日現在で193
名だ。

問 平成29年3月以降普
通自動車運転免許では
3・5t以上の消防自動

車の運転はできない。団
員の免許書の確認はでき
ているのか。

答 久保総務課長

免許改正につき、普通
自動車免許では3・5t
以上は運転できないの
で、改正後は確認済みだ。

問 準中型自動車の免許
取得につき助成金は出せ
ないのか。

答 久保総務課長

今すぐ助成金制度の導
入をする必要はない。将
来的に消防団活動に支障
が生じると危惧される。
必要に応じて助成金制度
に係る制度内容とか導入
時期について消防役員会
等で検討したい。



上勝町消防自動車

年間5千万円以上の森林環境譲与税の使い道は



高石雅弘 議員

産業課長 森林調査や施業など森林整備を中心に実施

森林環境譲与税について

問 森林環境譲与税の年度別交付金はいくらか。

答 佐々木産業課長

令和元年度	1,319万円
2年度	2,804万円
3年度	2,810万円
4年度	3,622万円
5年度	3,622万円
6年度以降	5,181万円
(*1万円未満は切り捨て)	

問 森林環境基金の残高はいくらか。

答 佐々木産業課長
令和5年度末の基金残高は2,810万8,800円である。

問 令和6年度以降は毎年5千万円以上の森林環境譲与税が見込まれる。今後の使い道を教えてください。

答 佐々木産業課長
基本的には森林調査や施業などの森林整備を中心に実施したい。預かった山林を整備し、元の所

有者に健全な状況でお返しすることを目的に取り組み、作業班の体制づくりも併せて行っていききたい。木育等の事業も実施し、検討していきたい。

問 上限100万円に關しては、住民からの要望も多い。前回の3月議会での回答では、今後一年間上限50万円で行い、経過をみて考えるのとのことだったので、次年度以降上限100万円またはそれ以上になるように検討してほしい。

集落再生事業について

問 当初予算で上限50万円と去年より半減した。100万円と見積もった場合、予算の差額はいくらか。

答 吉積参事兼 企画環境課長
864万円である。

問 森林環境譲与税を使って差額の800万円余りを捻出し、元の上限100万円またはそれ以上にできないのか。

答 佐々木産業課長
森林環境譲与税の使用用途は、一定の基準がある。集落再生事業は別の事業として考えてほしい。

森林環境公社の車庫について

問 4tトラックを収納するために3,000万円以上もかけて2階建ての車庫を新築したのに、隣に建てた新築のハウスにトラックを収納している。なぜ新築した車庫に収納しないのか。

答 佐々木産業課長

4tトラックが入るスペースは確保されているが、運転手の技術の差によって車庫の中にきれいに入らないこともあるので、隣のハウスに収納している。

ハウスは当初から建設予定だった。4tトラックが入らないから建てたものではない。

要望 そもそも4tトラックの車庫が必要とい

うことで建設したはずだ。しかし、車庫の入口の内幅はトラックの横幅より約26cm(左右で13cmずつ)広いだけだ。誰でもスムーズに入れることができない車庫を設計、建築しなければいけない。詳細を確認せず造ったと言われても仕方ない。今は設計段階でしっかりとチェックして目的のもの造ってほしい。



ハウスにトラックを収納

問 職員が休憩するための部屋が必要だということと2階建てにした。3月に完成しているが、5月29日現在、完成時と全く同じくただの空間で、何の設備もしていない。2階を使わなくていいのなら、最初から1階建てにすれば安価になり良かったのではないか。いつから、どのように使う予定か。



答 吉積参事兼 企画環境課長
寄附額の合計が829件で1,526万9,000円となっている。

問 令和5年度の総額はいくらか。

答 笹尾建設課長
ここ数年間の利用はない。

ふるさと納税について

問 ここ数年間の町内での補助金の利用は、どのようになっているか

耐震改修工事に対する補助金について

答 佐々木産業課長
車庫の2階は100%使用することが必ずしも適切な運用だと思わず、必要に応じて使用されると思っている。2階の備品は、使用者が適宜設置していくというところで確認している。



岡本 明 議員

問 防犯カメラ設置の補助金制度を検討しては

総務課長 個人宅の防犯カメラの補助金は考えていない

防犯カメラの設置について

問 昨年の町内での空き巣被害の件数は。注意を促す方法として、町内放送や、ビラを配るなどを行ってはどうか。

答 久保総務課長

令和5年中、窃盗犯については2件、知能犯というのが1件あった。不審電話等は、町内放送で注意を促した事もあったが、空き巣等の件についての放送はしていなかった。今後、情報が入れば町内放送で注意喚起を行っていききたい。リーフレット、チラシ等についても広報誌に折り込むなどして、周知啓発をしていきたい。

問 被害は2件で少ないようだが、実家を何年も空き家にし、帰ってきたら道具が無かったという話も数件聞いており、実

際には、もっと被害件数は多いと考えられるため、町道や県道に防犯カメラの設置は必要なので。また、個人で防犯カメラを設置する場合、補助金を出してはどうか。

答 久保総務課長

現在の所、防犯カメラの設置、または、購入に対する補助金制度の創出は考えていない。

過去の地滑り工事について

問 地滑り地区で、水を抜くためにボーリング工事を行ったが、現在までそのままの状態になっている。数か所についてはパイプの破損やコンクリートの亀裂などが見られるが、対策は考えているか。

答 笹尾建設課長

町内には、耕地地滑り地区と、土木地滑り地区

が存在し、地区数にするに合わせて15地区ある。修繕内容により、対策の優先度、対策工法の検討を行い、長寿命化計画を策定している。この計画をもとに、補修事業を実施していると県から伺っている。

町道雄中面線について

問 雄中面多田様宅から農協の堆肥場までの舗装を、以前から何度も要望していたが、対応はどうなっているか。

答 笹尾建設課長

農協の堆肥場までについては、路面整地に対応したい。

問 中原前建設課長の時は、舗装をするという話だったが、新しい課長に変わると、ただの整地だけで終わるのか。

答 笹尾建設課長

年度明けの発注は難しい。早期に発注できるように努めてまいりたい。

答 笹尾建設課長

延長は1kmもあり、財政的に厳しい。傷んだところについては、路面整地で対応したい。

問 担当課長が変わる度に答弁も変わるのか。

答 花本町長

再度、担当に現場を見させるので、結果をお待ちいただきたい。

建設業関係について

問 年度末に近付くと仕事が多くなり、年度が変われば仕事がなく、草刈をしたり休みの状況が続いているようだ、年間を通して仕事を出せるようにはならないのか。

答 笹尾建設課長

年度明けの発注は難しい。早期に発注できるように努めてまいりたい。

(※その他)

・加工所の設置について
・除草作業員の熱中症対策について
等の質問をした。



産業建設常任委員会視察報告

令和6年5月29日、かみかつ森林環境公社の4t用の車庫兼休憩所（3月完成、約3,520万円）、福川地区の福川防災コミュニティ施設兼消防詰所（3月完成、8,151万円）を視察した。

（二社）かみかつ森林環境公社の車庫兼休憩所について

予算の説明においては「4tトラックを入庫し、施錠できる保管場所がないため、新しい車庫が必要である。休憩所は、若い林業者の育成を図ることにより林業整備を着実に推進していくために必要な場所である。」とのことであった。

ところが、現場に行くと写真の通り、4tトラックは車庫の横に新設されたハウスの中に停められていた。休憩所は完成時と同じ状態で、利用されている形跡がなかった。



4tトラック車庫

車庫の入口の幅は、約2m91cm、4tトラックの幅は2m65cmであったので、両サイド約13cmの余裕しかない。この点は6月議会での、4tトラックが

入るスペースは確保されているが、技術が併わないと、きれいに入らない」という答弁と合致している。

また、ハウスの新設については、「当初から建設予定であった、前もって説明させていただいたと聞いている。4tトラックが入らないから建てたものではない。」との答弁があった。当時の議員6人に聞いて回ったが、ハウス新設についての説明は誰も聞いた記憶がないと言っている。

福川地区の福川防災コミュニティ施設兼消防詰所について

この施設は、防災等の観点からも必要なものであると思った。地域のコミュニティ施設としても使用できるので、これからもどんどん活用していただきたい。

ただ、洋式トイレの入口のドアが内開きなので、使用時の出入りが難しそうに感じた。



防災コミュニティ施設



福川消防



総務常任委員会活動報告

日時 令和6年7月10日

目的 小・中学校授業巡視

・校内視察

総務常任委員視察者

酒井委員長・平原副委員長・

岡本委員・前田委員・田中議

長・多田事務局長

内容 上勝町教育委員会と同行のうえ、小・中各校・各学年の授業巡視を行った。また、学校経営説明をそれぞれ受け、小学校中学校の連携も充分とれていると思われた。特に、地元に取り添ったふるさと教育・体験学習等は継続性を重視されていた。学習面でも、タブレット端末を活用し、スムーズな授業進行と自己表現を活かす発言回数も多かった。施設関係で気になった点は、タブレット端末利用時には、机の幅が狭いように感じた。サイドテーブルが必要なのかも。最後に、給食センターを視察した。常に清潔を意識し、時間内配送を重視されており、手際の良さが見

とれた。関係者のみなさまには、貴重な時間を頂き、ありがとうございました。



中学校



小学校

まちのようす



田植え (生実)



トポス花植え (生実)



彩公園草刈り (正木)



勝浦川鮎解禁 (福原)



あじさいの花 (生実)



野尻住宅建前 (生実)

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。逃れられない酷暑が日常となり、気候危機による影響が世界で深刻な問題や変化をもたらしています。

上勝の夏は忙しく、屋外での仕事が続く方も多いですが、十分な暑さ対策で備え、無理のない様お過ごし下さい。

また、熱中症特別警戒アラートが発表される際にはクーリンググシエルトアーも活用し、涼しく過ごせる環境を確保してください。

そして、夏は子どもたちの楽しみにする祭りが目白押しです。企画やお手伝いの方々、毎年本当にありがとうございます。今シーズンも大きな事故等なく無事に、町民の皆さまと共に夏を乗りこえていける事を願っております。

(平原)